

ガバニングボード（第100回） 議事要旨

1. 日 時 令和5年3月16日（木） 9：30 ～ 10：30

2. 場 所 中央合同庁舎8号館 6階623会議室

3. 出席者

内閣総理大臣補佐官

森昌文

総合科学技術・イノベーション会議（CSTI）議員

篠原議員（座長）、上山議員、梶原議員、佐藤議員、菅議員、波多野議員、梶田議員

内閣府

松尾事務局長、大塚内閣府審議官、奈須野統括官、坂本審議官、渡邊審議官、井上審議官、
覺道審議官、高原審議官、次田参事官、須藤プログラム統括、植木参事官、生田参事官、
宇田川企画官、葛巻PD、柏木PD、浅野サブPD、高橋サブPD、庄木サブPD、
木村参事官、辻原参事官

4. 議 題

- (1) S I P第3期のプログラムディレクターの承認について
- (2) S I Pにおける利益相反マネジメントに係るアドバイザー及び第三者委員会の設置について
- (3) S I P第3期の社会実装に向けた戦略及び研究開発計画案のパブリックコメント結果、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の決定について
- (4) S I P第3期の令和5年度予算配分（4月配分）について
- (5) B R I D G Eの令和5年度予算配分（4月配分）について
- (6) S I P第2期プログラムディレクターからの最終成果報告について
 - ・自動運転（システムとサービスの拡張）
 - ・I o E社会のエネルギーシステム
- (7) その他

5. 配布資料

- 資料1 S I P第3期のプログラムディレクターの承認について（案）
- 資料2 S I P第3期の検討経緯とPDの選定手続き
- 資料3 S I Pにおける利益相反マネジメントに係るアドバイザーの設置について（案）
- 資料4 S I Pにおける第三者委員会の設置について（案）
- 資料5 S I P第3期14課題の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」案に関するパブリックコメント（意見募集）の結果について

- 資料6 S I P第3期の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」の決定について (案)
- 資料7 令和5年度科学技術イノベーション創造推進費について (案)
- 資料8 令和5年度戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) の実施方針 (案)
- 資料9 令和5年度研究開発とSociety 5.0との橋渡しプログラム(BRIDGE)の実実施方針(案)
- 資料10 説明資料 (自動運転 (システムとサービスの拡張))
- 資料11 説明資料 (I o E社会のエネルギーシステム)
- 参考資料1 S I P第3期の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」案に関する意見及び意見に対する考え方
- 参考資料2 次期 S I P (S I P 第3期) 課題候補に係る事前評価 (ガバニングボード (令和5年1月26日) 資料1) のうち、予算関連箇所 の抜粋
- 参考資料3 S I P第3期 各課題の概要
- 参考資料4 令和4年度 地域中核大学イノベーション創出環境強化事業 評価一覧
- 参考資料5 令和4年度PRISM審査・評価委員会新SBIR制度加速事業分科会概要 (第4回)
- 参考資料6 新SBIR制度について
- 参考資料7 最終成果報告書 (自動運転 (システムとサービスの拡張))
- 参考資料8 最終成果報告書案 (I o E社会のエネルギーシステム)
- 参考資料9 SIP/PRISMシンポジウム2022の開催について

6. 非公開理由

議題 (1) ～ (7) について、非公表資料を用いた議論を含むため、非公開とした。

7. 議 事

- (1) S I P第3期のプログラムディレクターについて、公募及び選考結果に基づき、14名のプログラムディレクターを決定することについて、承認した。
- (2) S I P第3期の利益相反マネジメントに係るアドバイザー及び第三者委員会の設置について審議し、決定した。
- (3) S I P第3期各課題の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」案のパブリックコメントにおいて提出された意見及び意見に対する考え方を審議し、その結果を踏まえ、「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」を決定した。
- (4) 戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) (令和5年度予算分) の実施方針 (案) について審議し、決定した。
- (5) 研究開発と Society5.0 の橋渡しプログラム (BRIDGE) (令和5年度予算分) の実施方針 (案) について審議し、決定した。
- (6) S I P第2期の「自動運転 (システムとサービスの拡張) 」について、葛巻プログラムディレクターよりS I P第2期の5年間での研究開発成果及び社会実装成果の報告を受けて、S I P第2期終了後の社会実装に向けた取組の方向性に関して議論した。
- (7) S I P第2期の「 I o E社会のエネルギーシステム」について、柏木プログラムディレク

ターよりS I P第2期の5年間での研究開発成果及び社会実装成果の報告を受けて、S I P第2期終了後の社会実装に向けた取組の方向性に関して議論した。

- (8) その他として、「S I P／P R I S Mシンポジウム2022」を3月17日に開催することを報告した。

以上